

2022年度 小委員会活動成果報告

(2023年2月7日作成)

小委員会名	JASS17 ガラス工事改定小委員会	主 査 名：角田 誠 就任年月：2021年4月
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工委員会 (内外装工事運営委員会)	委員長名：橋高 義典 主 査 名：角田 誠
設 置 期 間	2021年4月 ～ 2023年3月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>・ JASS17 ガラス工事改定小委員会は、前回改定から10年以上経過した JASS17 ガラス工事の改定を行う。委員会の体制としては、小委員会と WG を設置する。小委員会では改定方針と執筆作業の体制を決定する。具体的には、前回改定以降の技術の変化、基準類の変更の洗い出しを行う。これを踏まえ、節の構成の見直しの必要性の検討、変更・加筆すべき内容の検討を行う。これらの作業を通じて、全体の改定方針を決定する。</p> <p>また、SSG 構法検討 WG を設置し、最新の情報を収集した上で、SSG についての記述を見直すかどうかを検討する。</p> <p>これら方針が明確になったところで、執筆 WG を設置して、分担して執筆を行う。なお、SSG 構法以外にも、旧来の JASS からほとんど変更していない数値などは、今回一通り見直す予定である。</p> <p>(各年度活動計画) 初年度： ・ 査読実施。改定版の出版、及び講習会の開催</p>	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無	
	主査：角田 誠 (東京都立大学) 幹事：清家 剛 (東京大学) 委員：石井 久史 (LIXIL)、井上 朝雄 (九州大学)、江口 亨 (横浜国立大学)、菊地 哲 (板硝子協会)、熊谷 亮平 (東京理科大学)、多賀 洋 (日本設計)、俵田 忠明 (板硝子協会)、久田 隆司 (板硝子協会)、松尾 隆士 (清水建設)、吉田 一彦 (日建設計)	
設置 WG (WG 名：目的)	<p>(SSG 構法検討 WG) 目的：SSG 構法の現状の技術について確認し、JASS17 の記述の修正が必要かどうか検討する。</p> <p>(ガラス構法執筆 WG) 目的：JASS17 ガラス工事の執筆を行う。 ガラス各構法は専門性の高い内容であるので、執筆グループを編成し、執筆を行う。内容は、ガラススクリーン構法、SSG 構法、張付け構法等である。</p>	
2022年度予算	220,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会HPアドレス：無

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会 承認企画	

大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 <small>(当初の活動計画と得られた成果との関係)</small>	<p>1. 査読が終了し手直しをする段階でコロナ禍が起こり、委員が集まらない状態に陥った。数名の委員により再査読対応を行い、2022 年末に再査読対応版が完成した。</p> <p>2. 委員会としての改定作業はほぼ終了しており、再査読の結果を待って刊行物出版、講習会開催を 2023 年度に開催する。</p>
委員会活動の問題点 <small>・ 課題</small>	